

製品名: SYP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80835**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	33.8kDa

抗原情報

遺伝子名	SYP
別名	MRXSYP; SYP
遺伝子 ID	6855.0
SwissProt ID	P08247
免疫原	大腸菌で発現した SYP の精製された組み換え断片。

背景

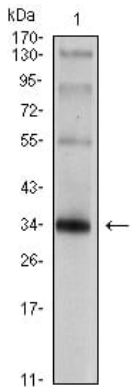
シナプトフィジン (p38) は、脳および内分泌細胞における小型シナプス小胞の膜貫通タンパク質です。シナプトフィジンは4つの膜貫通ドメインを有し、六量体チャネルまたはギャップジャンクション様の孔を形成します。シナプトフィジンは SNARE タンパク質で

あるシナプトブレビン/VAMPに結合し、シナプトブレビンがシナプス小胞融合複合体に取り込まれるのを防ぎ、シナプス活動が亢進した際にシナプトブレビンがエキソサイトーシスされるよう、シナプトブレビンのプールを形成します。シナプトフィジンはまた、融合複合体の重要な構成要素であるシナプトブレビン 2/VAMP2 をシナプス小胞へ誘導する役割も担っています。

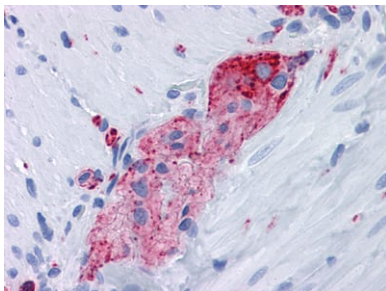
研究分野

-

画像データ



ラット脳組織溶解物に対する SYP マウス mAb を使用したウェスタン ブロット分析。



抗 SYP マウス mAb を用いたパラフィン包埋ヒト小腸、筋層間神経叢組織の免疫組織化学分析